

1 研究題目

胸腺癌組織におけるTIL・TLSおよびNLRなどの末梢血炎症マーカーと術後予後に関する後ろ向き観察研究

2 研究の対象

2010年4月から2020年12月までに岡山大学病院及び共同研究機関において胸腺癌に対する手術を施行した患者。手術時年齢が20歳以上の患者(男性・女性)。入院または外来患者。

3 研究目的

胸腺癌は予後不良な稀少癌の一つであり、単一施設での症例集積は少なく、十分な研究は進んでいない。また、免疫チェックポイント阻害薬も臨床応用されておらず、有効な薬剤の開発が課題である。岡山大学病院および共同研究機関において胸腺癌に対する手術を施行した患者の手術時組織検体を用いてTIL(腫瘍浸潤リンパ球)・TLS(3次リンパ節組織様構造)の評価を免疫染色により行い、血液検査や予後などの臨床情報と併せて後方視的検討を行う。

4 研究期間

研究倫理委員会承認後～2025年3月31日

5 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報(病歴、年齢、身長、体重、既往歴、投薬歴)、血液検査、画像検査(CT、MRI、PET)、腫瘍組織型、病理病期、術前後の化学療法・放射線療法の有無及び内容。術式、術後病理診断結果、術後経過、再発の有無、再発後治療歴、生存情報、死因、手術中に採取した組織(診療で用いた検査の残余検体)

6 研究責任者

医師 川真田 修